

## 産婦人科

連携基幹病院数	8 施設	
連携基幹病院名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石川県立中央病院</li> <li>・ 山梨大学附属病院</li> <li>・ 亀田総合病院</li> <li>・ 東邦大学佐倉医療センター</li> <li>・ 沖縄県立中部病院</li> <li>・ 千船病院</li> <li>・ 長崎医療センター</li> <li>・ 福井県立病院</li> </ul>	
指導医	氏名	専門
計：2名	◎新井 隆成	周産期・婦人科・女性診療
◎指導責任者	安田 豊	周産期・婦人科・女性診療
指導責任者紹介	<p>臨床研修センター センター長          家族みんなの医療センター センター長          産婦人科科長          日本産科婦人科学会認定指導医・専門医          日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医・専門医          日本胎児心臓病学会評議員          ALSO-Japan 代表          山梨大学医学部臨床教授          金沢医科大学客員教授</p>	
専門医数	4 名	
疾患の比率 (総計 100%)	腫瘍(良性・悪性)30%, 周産期 50%, 内分泌(不妊)5% 女性のヘルスケア 15%	
病床・患者数	<p>病床数 婦人科 5 床 産科 21 床 NICU 0 床 新生児 2 床          分娩 320 件/年 帝王切開数 50 件/年 母体搬送 1 件/年          婦人科手術 約 90 件/年          年間外来患者数 約 14,000 名          年間新入院患者数 約 670 名</p>	
研修の特徴	<p>産婦人科、家庭医療、緩和医療とチーム体制を組んだ家族みんなの医療センター(MCEF: Medical Center for the Entire Family)における研修体制が最大の特徴です。産婦人科標準的診療研修には下記のように力を入れていますが、それに加えて特に内科的診療能力を身につけた産婦人科医を目指す専攻医は、女性診療に関するプライマリ・ケア的診療能力指導を家庭医から継続的に受けることができます。「ゆりかご前からお亡くなりになった後の家族のケアまで」を目指した家族みんなの医療センターで、女性の一生に自信と優しさを持って関わられる産婦人科医を目指した中身の濃い研修を受けることができます。</p>	
臨床研修 の内容	<p>・<b>産科</b>:現分娩取り扱い医 7 名体制(産婦人科医 3 名、家庭医 4 名)。予防医学の観点から「安全なお産」を目標に ALSO(ALSO-Japan 本部のある病院です)、チーム STEPPS を実地導入。特にリスク管理を重視し、ハイリスク妊娠をいかに安全に分娩させるかをテーマに研修を行っています。当直回数の負担が少なく、臨床訓練と自己学習をバランスよくおこなうことができる</p>	

	<p>研修体制。安全確実な帝王切開技能徹底習得研修。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>胎児超音波検査</b>:「自信を持ってできる胎児超音波検査」を目指したマンツーマン徹底指導。</li> <li>・ <b>産科麻酔</b>:麻酔科専門医が無痛分娩に対応。無痛分娩から帝王切開の麻酔まで麻酔科専門医による指導を受けられます。</li> <li>・ <b>外来診療</b>:臨床推論から婦人科検査技能まで、診療能力を基本からしっかり身に付ける徹底指導と段階的レベルアップ研修。</li> <li>・ <b>女性のヘルスケア研修</b>:思春期から更年期、老年期まで女性特有のコモンの疾患(症状)全般に関するプライマリ・ケア診療研修(家庭医の研修指導希望に対応可)。漢方療法研修にも力を入れています。</li> <li>・ <b>婦人科手術</b>:外科手技の基礎を重視した「安全な手術」を目標に、月一回の合同手術トレーニングから、[手術シミュレーション - 手術 - 手術デブリーフィング]を繰り返す徹底手術指導。</li> <li>・ <b>婦人科癌診療</b>:悪性腫瘍手術を目指した手術手技の習得訓練、婦人科癌化学療法、放射線療法研修。</li> <li>・ <b>ターミナル・ケア</b>:緩和医療科によるターミナル・ケア研修(ガン発症からの緩和医療とターミナル・ケア)</li> <li>・ <b>臨床研究</b>:カンファレンスから臨床研究を積み重ねる訓練を通して、学会発表、論文発表を継続的におこなう指導体制。</li> </ul>
<p>単年度専攻医 受け入れ可能 人数</p>	<p>2名</p>